

## 主任牧師 中島 聡

「わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。」

ヨハネ福音書一・一六／二〇一七年教会標語聖句

『主の年二〇一七年を歩み出す！』キリスト者は、一年一年を「主の年」と呼びます。紀元前B. C(Before Christ)は、「キリスト以前」の何年、紀元後A. D (Anno Domini)は、まさに「主の年」、キリストが生まれて何年という意味であり、キリスト者は一年一年、すべての時の支配者は、権力者や名人ではなく、どこそこの大統領でも独裁者でもなく、イエス・キリストのみと信じています。そして、イエス・キリストを自らの主とする時、主は私たちを必ず祝福してくださるのです。

このようなキリスト教の信仰を証するものと言え、第一に聖書です。「…万軍の主は言われる。必ず、わたしはあなたたちのために天の窓を開き、祝福を限りなく注ぐであろう。」(マラキ書二・一〇)。聖書は、主イエス・キリストの言葉と、主の霊・主の教えを受けた預言者、弟子たちの言葉であり、信仰そのものと言えます。

また、讚美歌・聖歌などの讚美があります。“主わ

れを愛す、主我を愛す、主は強ければ、我弱くとも恐れはあらし” “いつくしみ深き、いつくしみ深き友なるイエスは、罪咎(つみとが)愛を取り去りたもう”、“アメイジング・グレイス、♪驚くばかりの恵みなりき”等々、教会には信仰によって編まれ、信仰を言い表す数え切れない讚美があります。聖書も讚美歌も教派・教会によって沢山の種類がありますが、概ね通じるものです。

また、十字架、教会の礼拝堂、聖餐卓、塔、ステンドグラス等、建物や祭具も、それぞれに信仰を表しています。もう一つ、大切なものとして「教会史」、「証集」、「記念誌」があります。ほとんど全ての教会に「創立〇〇年史」や、受洗に至った経緯、教会生活、信仰生活の恵みや思い出を綴った「証集」、先に天に召された牧師、信徒の信仰を記した「記念誌」があります。これらはそれぞれの教会固有の信仰を表すものであり、遙か昔の話ではなく、より具体的な信仰の恵みが記されています。信仰には困難も試練も、病も挫折もあります。しかし、それでも主が私たちの「今」に働きかけて、「涙と共に種を蒔く人は、喜びの歌と共に刈り入れる」(詩編一二六・五)ようにしてくださることが証されています。

清水ヶ丘教会にも「倉持芳雄牧師伝道五〇年記念誌」、「清水ヶ丘教会五〇年史」、「清水ヶ丘教会信徒必携」に、信仰の恵みが証されています。私もこの教会に赴任して、これらの記念誌、教会史にどれほど励まされ、勇気づけられたことでしょうか。右も左も分からないような中、教会誌に表された信仰は、この教会において私が歩むべき道を明らかに指し示してくれました。その信仰による恵みの積み重ねが、今の教

会、今の私を力強く導いているのです。

『主の年二〇一六年の恵みに感謝します！』では、昨年を振り返りますと、教会にエレベーター(ミッシヨンホール)〔礼拝堂〕鶏鳴チャペルが設置され、御高齢、車椅子の方の来会に対応できるようになった、／白百合幼児学園の学校法人化が認可され、キリスト教幼児教育の維持発展に大きな力が得られた、／礼拝堂に新しいオルガン(ヨハネス・チャーチオルガン・エクレンAT250)とグランドピアノ(ヤマハC3X・公共施設仕様)が備えられ、また鶏鳴チャペルにも新しい電子ピアノ、ドラムセットが備えられ、教会音楽が益々豊かに奏でられ、讚美が捧げられるようになった、／召天者祈念礼拝を春と秋、年二回守るようにして、先達の信仰に学び、継承する機会が増し加えられた、／受洗五〇周年以上顕彰式を執り行い、「ヨベルの年」の祝福を発展的(奴隷の解放)罪の奴隷からの解放にとらえ、主の祝福を教会全体で受けられるようになった、／片平牧師と青年の集いのメンバーを中心に「せいねん礼拝」が開かれ、ユースを招く場が備えられた、／ベタニア村、ハイデルベルク信仰問答に学ぶ会、ローマ書を学ぶ会に加えて、新受洗者・転入会者のための聖書講座が開設された、／杉田地区の家庭集会在再開した、／チャペル・コンサートによってバングラディッシュに学校を設立するプロジェクト「共に生きる」の支援に、／WATOTO・愛と希望のコンサート(NPO法人クオリティワールド共催)によってウガンダの孤児の支援に仕えることができた、／KGCМ清水ヶ丘を中心に横浜の一クワイアが礼拝堂に集まって、「ハッピーイースター・ゴスペルコンサート」を開催し、児

童養護福祉施設にチャリティを届けることができた、  
 ／オルガン二台を東北教区被災者支援センターエマオ  
 に寄贈できた、／第四〇回神奈川教区音楽祭や「讚美  
 の泉・JAPANツアー」、PBA(太平洋放送協会開  
 局六五周年記念感謝会の会場教会として、教区の交流  
 やファミリー向けの讚美伝道、放送伝道の推進に用い  
 ていただいた、／書記・会計・営繕、各部門の統括担  
 当者が定められ、教会の福音宣教に関する働きが包括  
 的に進められるようになった、／会堂清掃奉仕グルー  
 プが六組から倍の一二組に増し加えられ、主の宮を皆  
 の手で清められるようになった、／主日礼拝・子ども  
 の教会・イブニングチャペル・聖書講読祈祷会、各家  
 庭集会が豊かに祝され、受洗者四名、転入会者一五名  
 が与えられた等々、新しい恵みに満ち溢れた一年であ  
 りました。

勿論、壮年会、婦人会、教会聖歌隊、三教会交流、  
 日韓姉妹教会交流、サマリヤ会、献身者援助会、海外  
 宣教援助会、どんどん手芸の会、ウクレレの会、教会  
 バザー、お花見会、カナダCCC日本青年伝道の受け  
 入れ等々、長きにわたって継続している恵みに支えら  
 れた一年であり、教会施設において活動、会議をして  
 おられる劇団テアトルリーベ、ギデオン横浜支部、ま  
 りの会、アンサンブルシオン、横浜マタイ研究会合唱  
 団、混声合唱団ハルモニークールが礼拝や教会行事に  
 結びついて得られた恵みに感謝する一年でありました。  
 まことにまことに、「わたしたちは皆、この方の満  
 ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを  
 受けた」との御言葉は、真実でありました。



《主の年二〇一七年、主の恵みを伝えます！》  
 「受け継いだ恵みを伝える者となる。」／二〇一七年  
 教会標語

私たちは、昨年一年だけをとってみても、数え切れ  
 ない主の恵みをいただきました。まして、創立以来ど  
 れだけの恵みがこの教会に、私たち一人一人に注がれ  
 てきたことでしょうか。

「汝ら静まりて、我の神なるを知れ。」(詩編四  
 六・一〇(文語訳)、新しい福音宣教の年を迎えるにあ  
 たってこの御言葉が心に強く響きます。先の教会誌か  
 ら既に二〇年という時が経過しました。やがて、信仰  
 の恵みの記憶も薄れてしまいかねません。「一タラン  
 トンを土に埋めて」はならないと示されます。

「子孫に隠さず、後の世代に語り継ごう。主への賛  
 美、主の御力を。主が成し遂げられた驚くべき御業  
 を。」(詩編七八・四) 二〇一七年、私たちは、ひと時  
 静まって、主から受けた恵みの数々、教会生活、信仰  
 生活の証・思い出を書き綴り、困難も試練も恐れずに、  
 これから後の多くの人々の救いのために「証集」を編  
 み、主の福音を宣べ伝えて参りましょう！